東海電子ウェブメディア　運輸安全 JOURNAL 主催　無料 WEB セミナー

どんな検知器ならOK？　NG？　記録は？　メンテは？

安全運転管理者の業務が大きくかわる

白ナンバー アルコールチェック義務化対策セミナー

飲酒運転防止に関する道路交通法施行規則９条改正
３つの義務の解説と、包括的な対策について

＜対象者＞　企業経営者（使用者）、管理部長、安全運転管理者、衛生管理者、運航管理者、運行管理者、産業医

安全運転管理者は、

Ⅰ　アルコール検知器を用いて酒気帯び確認をしなければならない
Ⅱ　アルコールチェック実施の記録を1年間保存しなければならない
Ⅲ　アルコール検知器の設備管理をしなければならない

白ナンバーアルコールチェック
義務化の背景と対策

道路交通法改正「３つの義務」。
これ以外にも、マイカー通勤者対策等、労働安全衛生法観点も加えて
「ポーズだけではない体制」「形骸化しない体制」についてご説明します。

・千葉県の飲酒運転事故と、日本の飲酒運転者年間２万人の関係
・緑ナンバートラックで飲酒運転が減らない理由
・白ナンバー職業別飲酒運転者から浮かび上がること
・使用者と安全運転管理者が絶対に理解しなければならない３つの義務化
・義務化に対応できるアルコール検知器の選び方
・500円のアルコールチェッカーと15万円のアルコール測定器の違い
・アルコールインターロックは、該当機器として認められるか？
・アルコール検知器義務化　鉄道、航空、トラック・バス・タクシーの事例
・社用車だけでいいのか？　マイカー通勤者、電車通勤者はどうするのか？
・アルコール検知器　認定制度はあるのか？技術規格について
・アルコール検知器　導入ハンドブック
　～ 何のための、アルコールチェックか？～

今回のWEBセミナー本編につきましては
過去に開催いたしました
アーカイブ動画での開催となります。

7/19（火）
13：30 ～ 14：30

【開 催 方 法】
ZOOMによるオンライン形式（30分前よりご参加頂けるよう調整致します）

【申込み方法】
下記URL、または東海電子HPより参加登録をお願い致します。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_GKSs8hVtQXK7HyPkm5NXZQ

お問合せ　東海電子株式会社　td-seminar@tokai-denshi.co.jp